



[第六回 XMLコンソーシアムWeek 6日目]

## sPlat プロジェクト

暗号化XMLデータ利用技術についての課題と対策


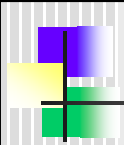
## プロジェクト全体像と取り組み状況

2007年5月21日

Webサービス実証部会

松山 憲和 (PFUアクティブラボ株式会社)  
matsuyama.nori@pfu.fujitsu.com

Copyright © XMLコンソーシアム 2007 All rights reserved.



## sPlat プロジェクト

2006年4月6日  
XMLコンソーシアム

---

### XMLコンソーシアム、 暗号化XMLデータの利用技術の検討を開始

---

XMLコンソーシアム（会長：鶴保征敏 独立行政法人 情報処理推進機構ソフトウェアエンジニアリングセンター所長）は、本日、XMLデータのビジネス利用で必要となるXML暗号化の利用技術を検討する活動を開始しました。本活動では、従来困難とされてきた「暗号化XMLデータの妥当性検証」をスムーズに行う技術を確認するために必要な技術の検討と参考実装の開発および検証を行い、現実の業務への適用を提案していきます。この活動の結果として、XMLデータ交換、特にWebサービスにおいてデータ秘匿性を確保する手段を確認し、機密性を必要とする高取引のインターネット化推進に寄与することを目標としています。

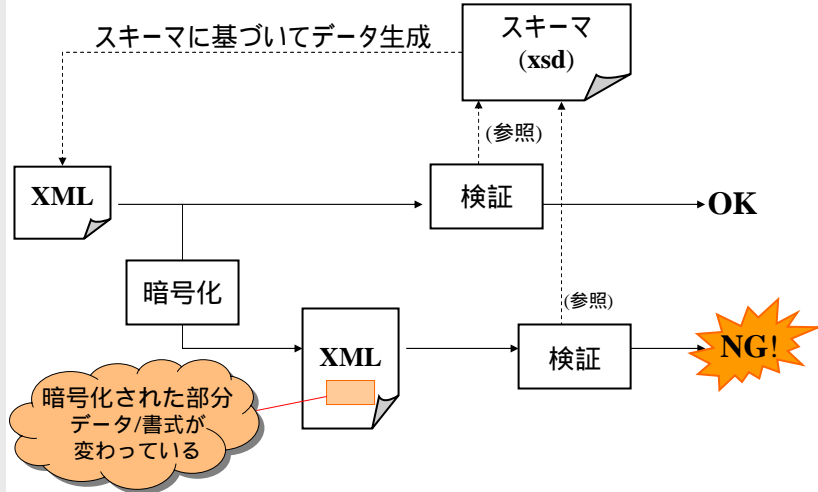
本活動は、XMLコンソーシアムのWebサービス実証部会とセキュリティ部会が共同で実施します。

Copyright © XMLコンソーシアム 2007 All rights reserved. - 2 -

# 問題の内容



## 暗号化とスキーマ検証



# なぜ、問題なのか？



## XMLアプリケーションではスキーマ検証が必要

- ☞ データの妥当性検証
  - ☛ データ書式が正しいことを確認
    - ☛ アプリケーションでエラーが出ないように
  - ☛ 不正なデータの侵入を遮断
    - ☛ 例 - ウィルスを紛れ込ませたデータ
- ☞ アプリケーションによる処理の一部
  - ☛ アプリケーションにデータをオブジェクトとして渡す
    - ☛ データバインディング 検証が必要



## ✦2005年10月にプロジェクトを企画

Webサービス実証部会とセキュリティ部会で、解決への活動を相談

## ✦合同活動

- 解決方法の調査、提案      セキュリティ部会メンバーが中心
- 実装方法の検討、実施      Webサービス実証部会メンバーが中心
- 12社18名

## ✦スコープ (カッコ内は将来の課題)

- 課題解決の範囲      : 妥当性検証、データバインディング
- 課題解決の実現方法 : スタンドアロン・ツール/(検証エンジン統合化)
- 対象スキーマフォーマット : W3C策定のXML Schema
- 派生課題 : 暗号ポリシーの定義や伝達方法

## ✦これまでの活動報告

- 2006年 5月24日      第5回 XMLコンソーシアムWeek
- 2006年12月12日      第8回 XMLコンソーシアムDay

# 本日のアジェンダ

## ① sPlatプロジェクト活動状況概要のご紹介

(PFUアクティブラボ) 松山 憲和

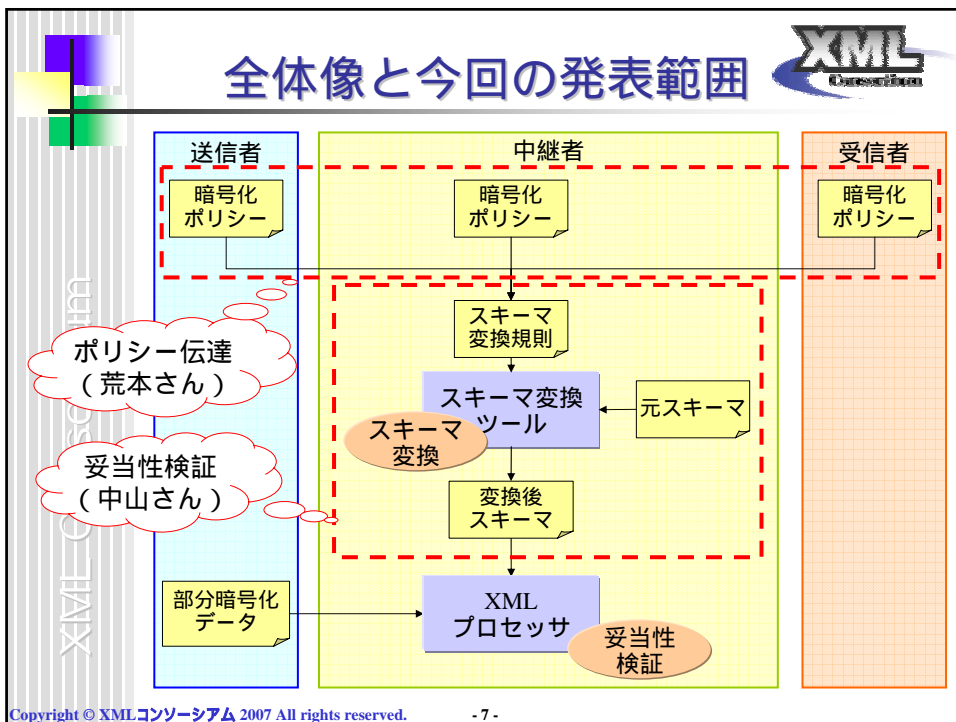
## ② スキーマ変換方式による妥当性検証の実現

(日立製作所) 中山 弘二郎

## ③ 3者間のポリシー伝達

(アドソル日進) 荒本 道隆

# 全体像と今回の発表範囲



## XML Consortium

【第六回 XML Consortium Week 6日目】



# ディープなXMLテクノロジーの世界を お楽しみください！